

桜美林大学の新教育構想 -新キャンパス計画を中心に-

桜美林大学
学長
畑山 浩昭

JMOOC総会・講演会 2018.6.20

発表の目的

桜美林大学の将来構想
“What, Why, and How?”

～ひとつの事例として～

発表の内容

- 桜美林の紹介
- 現在のミッションと将来像
- 直面する課題と中長期の計画
- JMOOCへの期待と可能性

創立者：清水安三

- 同志社大学神学部卒(1915)
- 宣教師として中国へ渡る(1917)
- 災童収容所を作り、799名の児童を救う(1919)
- 崇貞学園設立(1921)
- 米国オベリン大学(Oberlin College)留学(1924～26)
- 終戦、中国政府により崇貞学園接收(1945)
- 帰国し、桜美林学園開校(1946)
- 高等女学校(1946)、中学校(1947)、高等学校(1948)、短期大学(1950)、大学(1966)、幼稚園(1968)

創立から現在までの歩み



現在の桜美林大学の規模

教職員と学生の概数	
在籍者数	9200
留学生	650
留学派遣者数（年間）	650
専任教員数	260
非常勤教員数	600
専任職員数	160
非常勤職員数	130

私学としてのミッションと将来像

建学の理念:「**キリスト教精神**に基づく**国際人**の育成」

キリスト教精神		国際人	
キリスト教精神	キリスト教理解	技能・能力	知識
自由平等、公正公平の精神	キリスト教人口の分布、国や民族	語学	日本に関する知識、専門と教養のバランス
他者のため、共生社会の実現	思想、宗教の展開	異文化間コミュニケーション	各専攻・専門、国際法、国際関係、地域研究、歴史的関係
バイブル/聖句に基づく言動	歴史、文化、社会	柔軟な思考、寛容かつ積極的な態度	グローバル問題、国際交流、国際貢献

育てたい人間像

- 考え方や行動のための規範を有する人
- 知識や技術を求めて学び続ける人
- 相手の立場に立って物事を考える人
- 信念を有し、あきらめない人
- グローバルに考え、行動できる人



自分の足場を固めて、「学而事人」を実践すること

主な課題と中長期計画

- 大学全体の国際化、グローバル対応
- ユニバーシティと各カレッジの特色強化
- キャンパスの拠点化
- 地域との連携強化(広域キャンパス構築)

・ビジネスマネジメント学群(2019)

→ 新宿キャンパスに移転(新宿区百人町)

・芸術文化学群(2020)

→ 本町田キャンパスに移転(東京都町田市)

リベラルアーツとプロフェッショナルアーツ



質的、量的発展の具体策

質的
発展

- ・しっかりしたガバナンス
- ・財務基盤が強い大学
- ・国際的なキャンパス
- ・安全、安心なキャンパス
- ・地域や市民に開かれた大学
- ・優秀な学生を確保するアドミッション
- ・グローバル化に対応できる教職員
- ・カリキュラムの国際的な認知度と評価
- ・国際的なキャリア開発支援
- ・積極的な社会貢献
- ・キリスト教精神に基づく態度や行動
- ・センスあるメディアミックス

世界から
人が集まる
学びの場

- ・留学生数
- ・海外留学経験者数
- ・サービslラーニング参加者数
- ・ボランティア活動参加者数
- ・外国語試験点数
- ・英語によるプログラム数
- ・大学院進学者数
- ・外国籍教職員数
- ・学位取得者数、海外大学学位取得者数
- ・英語論文発表数
- ・生涯学習プログラム受講者数
- ・同窓会、後援会各種イベント参加者数
- ・寄付金総額
- ・志願者数

量的
発展

大学(University)と学群・大学院(College & School)

J. F. Oberlin University (大学)

建学の精神: キリスト教主義に基づく国際的な人物の育成、学而事人(がく・じ・じ・じん)

College of Liberal Arts and Sciences (リベラルアーツ学群)

人文・社会・自然・学際的基础学術、総合学群(入定950 / 収定3800)

College of Global Communications (グローバルコミュニケーション学群)

英語、中国語、日本語を外国語学の基礎とするグローバルリーダーシップ教育(入定250 / 収定1000)

College of Visual and Performing Arts (芸術文化学群)

音楽、ビジュアルアーツ、演劇、ダンスの専門教育と総合文化学(入定400 / 収定1600)

College of Business Management (ビジネスマネジメント学群)

産業研究とマネジメント学の融合学、及び、航空学(入定480 / 収定1920)

College of Health and Social Welfare (健康福祉学群)

福祉、保育、健康、スポーツのサイエンス(入定300 / 収定1200)

Graduate School (大学院7研究科)

国際学、言語教育学、経営学、心理学、老年学、大学アドミニストレーション(通学・通信)(入定213)

Other Schools (その他の教育組織): 日本語別科、孔子学院(中国語特別課程)

新宿キャンパス:ビジネスマネジメント学群



ビジネスマネジメント学群

入学定員・収容定員	480 / 1920
プログラム	-ビジネス(観光、流通、金融、ICT) -マネジメント(会計、財務、管理運営、戦略) -エアライン・ビジネス、エアライン・ホスピタリティ -フライトオペレーション
学群共通重点教育	-語学(16～20単位) -留学(単学期～2年間) -フィールドスタディ(インターンシップ、実習、研修、ボランティア等)
現在の特徴	-女子学生、留学生の比率が高い

課題は新宿キャンパス移転後の学生募集

フライトオペレーションコースの紹介



国際的なパイロットの不足

- ・パイロットの需要 46万人(2010) → 98万人(2030)
- ・年間で200～300人の新規パイロットを採用
- ・2030年には、大量のパイロットが退職

桜美林大学フライトオペレーションプログラム

- ・2012年度～2017年度卒業生、就職100%
- ・1年半の米国留学
- ・奨学金について、産学官連携(エアライン、国交省等、大学)
→ 「一般社団法人航空機操縦士育英会」



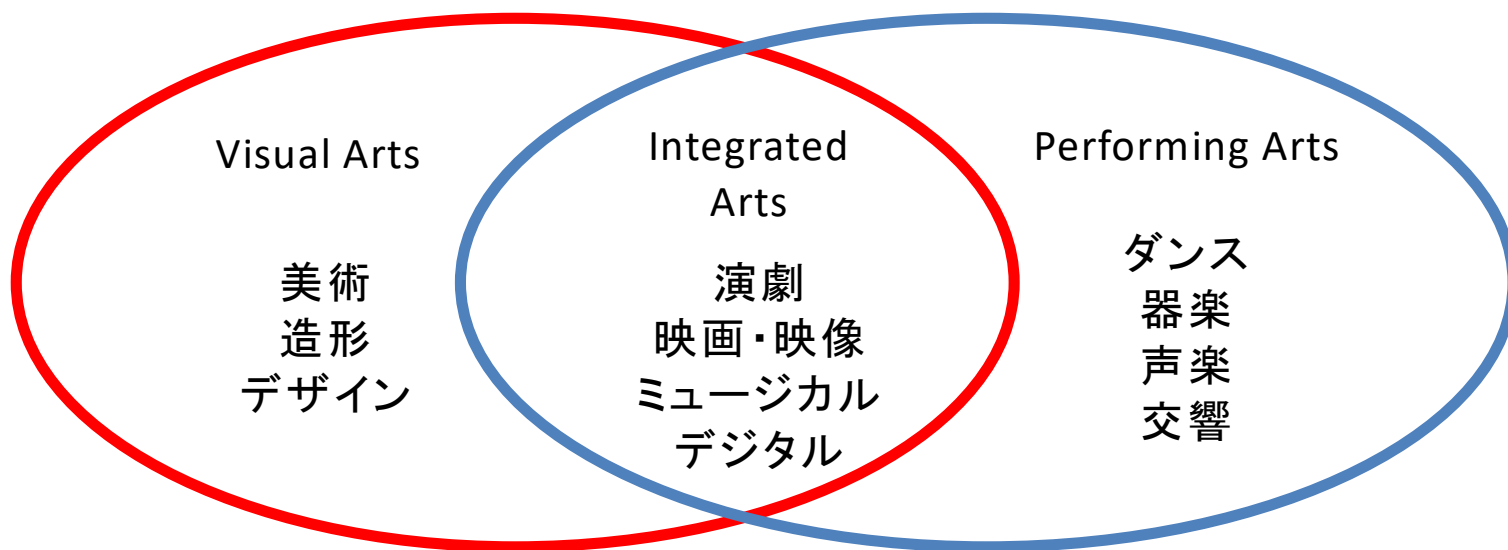
本町田キャンパス: 芸術文化学群

2020年4月 町田市本町田に
新キャンパス開設予定!



本町田キャンパス: 芸術文化学群

- 町田市本町田の公立学校跡地の利用
- 「広大な空間」「自然」「街」を有する恵まれたキャンパス
- 地域との協働、産学連携による街づくり



町田キャンパスの学群

学群	特色
リベラルアーツ学群	人文科学、社会科学、自然科学の基礎学術科目群を配置し、学際横断的に学修できる。入定950名。多数の専攻、Late Specializationなど。
グローバル コミュニケーション学群	日、中、英の語学を基礎とし、集中的に学修したあと、専攻科目や留学につなげるカリキュラム。留学生とともに、3言語から選択して科目群を履修する。
健康福祉学群	身体、心理、スポーツ、福祉を組み合わせた、総合的な健康科学を学ぶ。保育を含む。
日本言語文化学院 (留学生別科)	留学生の日本語学習インスティテュート。学部、大学院への進学をサポートする。

JMOOCへの期待と可能性

- * MITでの個人的な経験 (MIT OpenCourseware、Harvard とのクロスレジストレーション)からの私見
- * 拠点化されるキャンパス群をつなぐプラットフォーム



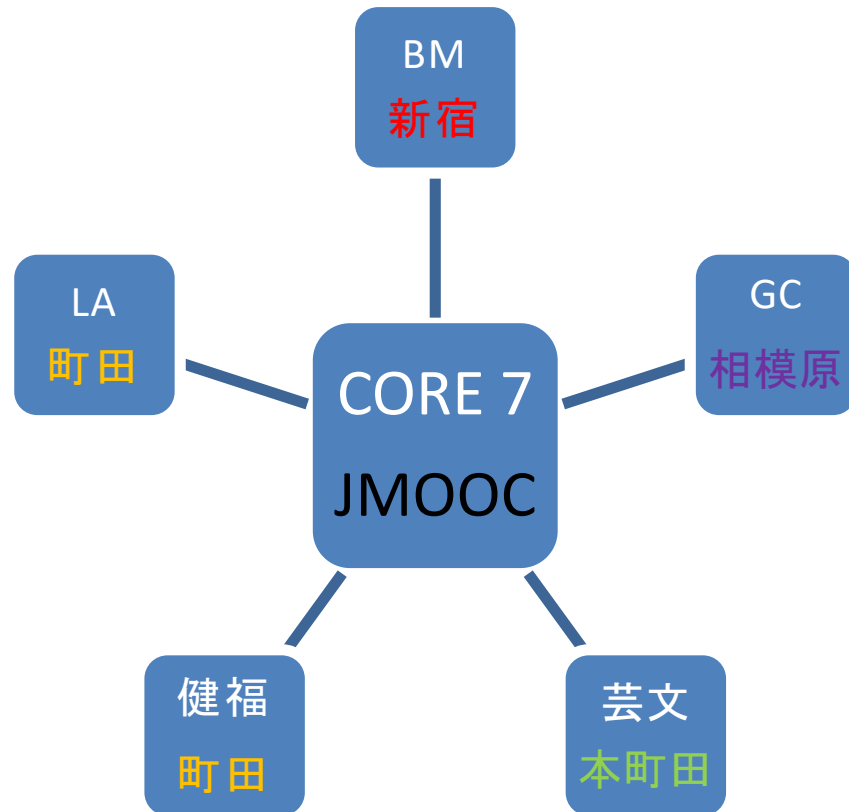
- 個々人に合わせたプログラムの構築、組み合わせ学修
- 個々人の学修体系のアドバイジング・システム
- 大学間の学修単位の互換や積算、学修証明のプラットフォーム (学生の流動性、学修ポートフォリオの持ち歩き)
- 国際的な大学共通コース群の教材やプラットフォームとして

桜美林大学 CORE7 × JMOOC

CORE 7 領域

- 1) 外国語
- 2) 論理とコミュニケーション
- 3) 情報リテラシー
- 4) キリスト教理解
- 5) 人間・社会
- 6) 芸術・文化
- 7) 生命・自然

各学群が、上記領域対応科目として、特定の科目群を指定する。



世界から人が集まる学びの場



ありがとうございました

